

平成18年6月28日

報道機関 各位

東北大学広報企画室

サイエンスカフェWG

東北大学サイエンスカフェ・ネットワーク開催のご案内

「サイエンスってむずかしい」、「質問したいことがあるけれど誰に聞いたらよいかわからない」、サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、コーヒーカップを片手に、サイエンスについて気軽に話し合い、サイエンスの楽しさと社会貢献の姿を知ってもらおう場です。毎月1回、せんだいメディアテークで開催されている東北大学サイエンスカフェは、さまざまな世代・職業の方々の参加があり、大変好評です。

このサイエンスカフェをさらに多くの方々に楽しんでいただけるように、6月30日(金)に開催される第11回東北大学サイエンスカフェ「大隅典子×瀬名秀明 脳をつくる遺伝子レシピ!」は、仙台のメイン会場の他に、八戸工大、岩手県立大(アイーナキャンパス)などのサブ会場をJGNによって結びます。各サブ会場には仙台会場の映像が鮮明なデジタルビデオ(DV)データで配信されると同時に、各会場からは携帯電話またはPCで自由に質問していただけます(サイエンスカフェ質問投稿用のURLとQRコードが準備されています)。また八戸工大会場からは会場風景が映像として仙台会場に送信されます。これまでの講演会にはない新しいサイエンスコミュニケーションの場を演出しますので、ご案内いたします。

日時：6月30日(金)18~20時

テーマ：大隅典子×瀬名秀明 脳をつくる遺伝子レシピ!

講師：大隅 典子(東北大学大学院医学系研究科教授)

瀬名 秀明(作家、東北大学大学院工学研究科特任教授)

メイン会場：せんだいメディアテーク

サブ会場：八戸工大、岩手県立大・アイーナキャンパス(盛岡市)、岩手県立大・地域連携研究センター、データコア(秋田市)、山形県庁、会津大、NICT知識創成コミュニケーション研究所(京阪奈地区)、福井大、米子高専、九州産業大、和歌山県、NICT大手町RC、岡山県立図書館、NICT九州RC(北九州市)。ケーブルテレビ映像配信：岩手ケーブルテレビ、ケーブルテレビ山形、ニューメディア(米沢市)

参加費：無料(どなたでもその場で自由に参加できます。)

主催：東北大学

協力：東北情報通信懇談会、情報通信研究機構東北リサーチセンター(配信実施)

なお今回のネットワーク開催は、科学技術振興機構(JST)の平成18年度研究情報発信活動推進モデル事業「モデルの開発」(<http://www.jst.go.jp/pr/info/info284/index.html>)に採択された課題「ネットワーク型サイエンスカフェモデルの開発」(チームリーダー：福西 浩(東北大学大学院理学研究科教授))の一環として企画されています。

大隅先生と瀬名先生の話がそれぞれ20分ずつあった後で、テーブルごとに30分ほど、参加者どうしでさまざまな疑問について話し合います。(仙台会場ではテーブルごとにファシリテーターも入ります。サブ会場からもネットを使って質問できます。)最後の45分は全体的な質疑応答の時間とし、各テーブルで出た疑問に講演者が答えます。

< 講演内容 >

1000 億個のニューロンが精密なネットワークを形成している、私たちの脳。たった 1 個の受精卵から出発して、60 兆個の細胞から成る体が生まれ、そして脳ができる仕組みは、長い進化の過程で備わってきたものですが、まさに驚異的というしかありません。このサイエンスカフェではトークショー形式で、どのようにして脳の細胞の元になる細胞（これを神経幹細胞と呼びます）がたくさん分裂して数を増やし、ニューロンやグリアの細胞へと変化する（これを分化と呼びます）のか、細胞や遺伝子の研究成果を踏まえながら紹介したいと思います。また、こういった脳の発達のしくみをもっと調べるためには、どんな実験機械があるといいのでしょうか。脳がつくられるしくみは、コンピュータやロボットで再現できるでしょうか。未来の医療工学の夢も語ってみたいと思います。

< 講師プロフィール >

瀬名特任教授は、東北大学大学院在籍中の 1995 年に『パラサイト・イヴ』で日本ホラー小説大賞を受賞。また 1998 年には、脳についての小説『BRAIN VALLEY』で日本 SF 大賞を受賞しました。近年はロボット学や人工知能を紹介する一般科学書も多く発表しています。ロボットの心の問題を描いた最近の小説『デカルトの密室』（2005 年）は、再び日本 SF 大賞の候補になりました。2006 年 1 月から東北大学工学部機械系の特任教授として活動しています。

大隅教授は、脳の発生発達に関する研究に携わり、先駆的な成果をあげています。とくに、脳ができあがる際や、できあがった脳の中で、どのように未分化な神経幹細胞から分化した神経細胞が生まれるかについての研究を進めています。著書として『神経堤細胞』（共著、東京大学出版会）、人体発生学（分担、南山堂）、訳書として『エッセンシャル発生生物学』（羊土社）、『心を生みだす遺伝子』（岩波書店）などを執筆しています。

< JGN >

超高速・高機能研究開発テストベッドネットワークとして、独立行政法人情報通信研究機構が 2004 年 4 月から運用を開始したオープンなテストベッドネットワーク環境です。産・学・官・地域などと連携し、次世代のネットワーク関連技術の一層の高度化や多彩なアプリケーションの開発など、基礎的・基盤的な研究開発から実証実験まで推進することを目指しています。

【本件の関連 URL とお問合せ先】

東北大学サイエンスカフェ：東北大学広報課，電話(022)217-4977

koho@bureau.tohoku.ac.jp

<http://cafe.tohoku.ac.jp/>

ネットワーク型サイエンスカフェモデルの開発：福西 浩（東北大学大学院理学研究科）

電話(022)795-6734，fuku@pat.geophys.tohoku.ac.jp

JGN : <http://www.jgn.nict.go.jp/>